

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3月19日(木) ① 喜屋武功</p>	<p>1. 島袋地域の浸水問題の打開策</p> <p>2. 基地返還予定地(喜舎場住宅地区)のこれまでの取組みと今後について</p>	<p>長年にわたりセントラルボーリング場北側、旧 JA 北中城支店島袋営業所付近は幾度も浸水被害がある地域だ。その原因の一つに排水施設の断面不足があるが、もう一つは沖縄警察署北側の沖縄市山里地区から国道 330 号を横断して来る流量に原因があることが分かっている。</p> <p>現状の調整池整備で浸水問題の根本解決につながるか。山里地区から島袋に来る流量を減らすことが必要と考えるがどうか。</p> <p>そこで山里地区から横断する流水を土地区画整理事業区域(ロウワーブラザ)に向けて直接「新川」に流下させる新たな排水施設を作ることが打開策になり得る。その整備を沖縄市含めて土地区画整理組合に要請すべき。</p> <p>キャンプ瑞慶覧喜舎場住宅地区の一部返還についてはこれまで、「家族住宅が完成しなければ返還されない」との説明であったが、昨年11月に議員有志で宮崎政久防衛副大臣にこのエリアの早期返還の要請をしたことを受けて令和8年度末に返還されるという流れになったと聞いている。</p> <p>そこで、返還される喜舎場住宅地区約5haの事業計画について伺う。</p> <p>① 喜舎場スマートインターチェンジ機能拡充(フルインター)に向けたこれまでの取組み状況として、NEXCO 西日本や沖縄県など関係機関とどのようなやりとり(回数含めて)をしてきたか。事業費の概算と事業主体はどこになるのか、事業費の村の財政負担分はどうなっているか。</p> <p>② 行政交流拠点や持続可能な地域発展に資するエリアにすると示しているが、地権者との意向確認はどうなっているか。また、このエリアにおける全体的な計画とスケジュールはどうなっているか伺う。</p> <p>③ 県道拡幅工事のスケジュールは。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>3. 基地返還予定地(ロウワープラザ地区)のこれまでの取組みと今後について</p>	<p>令和7年度の施政方針において「ロウワープラザ住宅地区の跡地利用が円滑に行われるよう地権者組織の支援に取り組む」とあり、令和7年3月には組合設立準備会が結成されているが具体的にどのような支援をしてきたか。</p> <p>令和7年度のロウワープラザ跡地利用計画に関する委託業務において、沖縄市北中城村の行政界変更について検討するとあるがそれについて、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 行政界変更を検討するに至った理由は。</li> <li>② 組合設立準備会と意見交換はしたのか。</li> <li>③ 行政界変更にかかる期間はどの程度か。</li> <li>④ 行政界の変更によって今まで進めてきた跡地利用計画への影響はどの程度あるか。</li> <li>⑤ 土地区画整理事業区域と市街化編入区域は一致しなければならないが行政界の変更の中に市街化編入の件は含まれているか。</li> </ol>	<p>村長</p>
<p>3月19日(木) ② 比嘉 悟</p>	<p>1. ごみ処理の現状について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 新一般廃棄物処理施設整備事業の進捗状況を伺う。</li> <li>(2) 全国的にリチウムイオン電池の不適切な分別が原因と思われる発火・発煙事故が起きている。ここ数年、沖縄県内でも10市町村で計18件発生していたと新聞報道があった。2月12日には、本村ホームページに、充電式電池等の収集方法が変更(有害・危険ごみへ)になります。とお知らせが掲載された。令和8年4月1日以降、これまで燃やさないごみで出していたものが、有害・危険ごみへ変更となったが、広報3月号には掲載がなかった。村民へ危険な物が近くにあるという周知をどのようにお考えか伺う。</li> <li>(3) 令和7年4月より、ゴミの減量化・資源化施策として、村指定ごみ袋の価格とデザインが改定された。その後、ごみの減量化・資源化の状況を伺う。</li> </ol>	<p>村長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>2. 児童生徒の安全について</p> <p>3. 村政施行80周年事業について</p>	<p>今年に入り、児童生徒の暴力等の動画が SNS 上に投稿、拡散されるケースが相次ぎ、全国的に問題となっている。SNS での動画の投稿は拡散され、個人情報半永久的に残るデジタルタトゥーなどの問題が懸念される。我が村の児童生徒を守る観点から、村内で事案等は発生していないか伺う。</p> <p>北中城村は今年、村政施行80周年であり、同時に中城村から分村し80年です。このような節目の記念すべき年に村としての取り組みについて伺う。</p>	<p>村長 教育長</p> <p>村長</p>
<p>3月19日(木) ③ 比嘉 義弘</p>	<p>1. ヤードの火事について</p> <p>2. 村内の道路上の事故について</p>	<p>1. 村内の人里離れたヤードの火事について シルバー人材センターの仕事で村営墓地の草刈りをしていたら突然少し離れたヤードの方向から真っ黒の煙が見えたと同時に複数の消防車のサイレンがけたたましく聞こえた。仕事を終えて現場に行ってみたが人影は見えなかった。土曜日であったので企業は休日と思う。しかし火事が起こっていた。そこで質問をしたいと思う。 (1) 人影のないヤードで火事が起こったのは特に問題はなかったか。承知していれば説明をお願いする (2) 私が現場についた時は誰もいなかったが、その前後に誰か関係者はいたか (3) 消防車が数台出動したことで村との問題はないか</p> <p>2. 南部延伸線(イオンモール東通り)から県道81号線に向かった中間ぐらいで起こった自動車事故について質問を行う。その通りの途中(中間ぐらい)に変則なT字路があり、また近くに割烹がある。歩道には大木がある。実はその大木がドライバーの目を一瞬邪魔し事故を起こす要因になっているとのこと。そのことについて</p>	<p>村長</p> <p>村長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>3. 基地返還について</p> <p>4. 防災組織の動きについて</p>	<p>は私自身も数名から大木が危険の存在になっていると                      (1) そういった話を役場に問い合わせはなかったか                      (2) 風景は少し損ねるが何とかして欲しいとのことである                      (3) 南部延伸道路のセンターラインが消えているが承知か                      (4) 関連して和仁屋の公民館前の村道は国道329号線の接点が出口になっている。ところが停止線がなくセンターラインのペンキも消えている。329号線は事故も結構ある。何とかして欲しい。また熱田や渡口にも集落から329号線に道路がある。同様に停止線がない</p> <p>3. 喜舎場ハウジングの基地内一部返還とのことだが                      (1) 以前から喜舎場ハウジングの基地の土地を返還して欲しいと声がある。今回の話は事実か何う                      (2) その日程は決まっているか。その予定日はいつか                      (3) それに伴い安谷屋から役場前も4車線になると考えるが                      (4) 更に石平のリージョンクラブ前から北谷町の58号線の北前までの基地の中の道路の返還は考えられないか。交通の便も一層よくなるし本村は住みたい村、また住んでみたい村になるのではないかと考えるが                      (5) 管轄外だと思うがやりがいはあるのではないか</p> <p>4. 自主防災組織等に関して                      今年度、喜舎場もやっと自主防災組織が立ち上がった。多くの区民は公民館前に集まり、はじめての事業を持った。自主防災訓練と炊き出し訓練の2つ事業を行った。幸いにも喜舎場は人材が豊富で役員もすぐ決まった。年1回その行事を持つことに決まった。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	5. 村内の小中学校のPTA活動等について	<p>(1) 喜舎場の自主防災組織が決まったのは遅かったように思えたが何番目か伺う</p> <p>(2) まだ決まっていない地域があるか伺う</p> <p>(3) 行政は全体をまとめる準備は考えているか</p> <p>(4) 行政が動き出すと全体的にもしかり波及効果が出てくるのではないか</p> <p>(5) 研修や勉強会等も持てるのではないか</p> <p>5. 本来なら議会で小中学校のPTA活動について議論は遠慮した方が懸命ではないかと迷いながら質問を決めた。個人的には小学校、高校でPTA活度の経験があるためと言った方がよいかも知れないが質問に至った理由である。下記の質問を行う。</p> <p>(1) 最近、村内の小学校でPTA活動が休止したとのことだが、正直大変驚いた。その理由が分かれば説明を求める</p> <p>(2) 児童生徒に精神的な影響はないか。保護者と先生方との問題と思うが</p> <p>(3) 学力の面で低下することはないか。またその前兆は見当たらないか</p> <p>(4) 一方の先生方にもそれなりに影響はあると思うが物心両面から</p> <p>(5) 学校側と教育委員会とPTAの件で話し合いを持ったことはあるか</p> <p>焦ることはないがPTAの復活の見通しはあるか。先生方と話し合う中で感じることはありませんか(その学校)</p>	村長 教育長



# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>「次年度80年事業として取り組んでいく」と答弁しています。しかしながら施政方針にも記述がなく、新年度予算を調べても予算措置は見当たりません。答弁を求めます。</p>	
<p>3月23日(月) ⑤ 大城 律也</p>	<p>1. 地域力・仲間力の弱さと高齢者等の孤独化について</p>	<p>春3月～4月。卒業、入学、進路、就職、転勤、人事異動、定年。まさに悲喜交々。「人去り、人来る」時であります。若鳥は巣立った後に羽の重さを知るといふ。 “風薫る弥生の空に夢託す皆の願い花咲かせよ”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化の進行、多様化、複雑化する村民ニーズ、高度な情報ネットワーク社会の到来等、劇的に変化している。特に複雑化する行政課題及び多様化する村民ニーズに応えていくためには、所管部門を越えた分野横断的な視点を持ち、柔軟かつ合理的な対応を行う必要があります。また、限られた財源の中で求められる行政需要に的確に対応するためには、事業の優先順位に基づく峻別を行い、確実な業績目標を達するための組織及び仕組みの構築やリーダーシップの発揮が求められています。行政経営をいかに合理化し、効果の多いものにするということは、村長のみならず、その補助者である。副村長、教育長、各課長の一番大切な任務である。</li> <li>・世界に前例のない速さで高齢化が進み、本村も超高齢社会を迎えている。発言通告の通り少子超高齢社会の進展に関連して質問してまいります。</li> </ul> <p>①高齢化が進行し、単身高齢世帯が増加している。高度経済成長する中で、都市でも地方でも地域社会が崩壊し、精神的には地域社会の地縁が失われ、地域社会の中での人間関係を含め、地域力や仲間力が弱体化し、喪失する中で、社会的孤立や孤立死の問題がでてくる。このような状況に鑑みると、多様な高齢者の現状やニーズを踏まえつつ、今後の超高齢社会に適合した地域社会における人々の新たなつながりをどのように作りだしていくかである。今後の取り組みについて、見解を伺います。</p>	<p>村長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>2. 「これからの北中城村」のために。</p>	<p>②これまでの「人生60年時代」から「人生90年時代」への対応について、これまでは「人生60年時代」を前提として様々な対応や制度設計がなされてきた。20世紀は高齢期への備えとして、居住用不動産に投資し、老後の所得保障や経済的な支えとして機能することが期待されてきたが、備えとしての役割が十分に機能していない状態にあると考えられる。平均寿命が延び人生が長期化した現在、将来を見据えて「人生90年時代」への備え世代環境を推進する必要があります。対応について見解を伺います。</p> <p>今日の北中城村は少子高齢化、人口増加の鈍化、社会資本の老朽化に加え、地域的な偏在の加速が顕著であります。行政の存在をなすものは地域活動であります。行政の基盤である地域自治会がライカム地区の急激な進展に伴って顕著となった変化である。人口動態、産業・交通、集落構造等の面で急激な変貌を遂げている。少子高齢化のなかで、人口急増地域と、高齢化地域などの端的な構造変化を示しています。村全体にわたって均等のとれた発展の中で魅力ある豊かな地域社会の実現を図っていくことが今後の行政にとって最大の課題と考えています。地域構造の現状について、どのように認識しているか。見解を伺います。</p> <p>②少子高齢化が進行して、地域自治会の人口減少が進む中であって集落の数はそれほど減少せず、住み続ける中、単独世帯は増加する見込みである。医療・介護・教育・交通・災害対応等の分野において、住民に身近な行政の役割が増え、住民一人当たりの行政コストも増大するとものと見込まれます。人口減少、少子高齢社会の到来により、地域社会の状況が大きく変容する中で、行政が人々の暮らしを支える対人サービスをどのような形で持続可能に提供していくかが問われている。現状について見解を伺います。</p> <p>③本格的な高齢社会においては、高齢者が多数派になり、また、その体力、知力もさ</p>	<p>村長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>らに向上すると考えられることから、高齢者の健康や生きがいを高めるため、社会貢献する『村老人クラブ連合会』を自立した存在として積極的に位置づけることが重要である。豊かな人生経験等を活かしたコミュニティ・ボランティア活動を促進し、高齢者の地域活動の活性化を図る必要がある。支援策について見解を伺います。</p> <p>④高齢化の進行具合を示す言葉として、高齢化社会、高齢社会、超高齢社会という言葉がある。本村における令和2年において24.1%であり超高齢社会に当てはまる。社会的な孤立が社会問題化してくる。4人に1人が高齢者である。今後も上昇を続けるものと予想される。高齢者を社会的孤立に向かわせない為の施策を念頭に置いて、高齢者の現状の把握と今後の取り組むべき方向性の確立が重要である。取り組みについて見解を伺います。</p> <p>⑤増加する高齢者人口の中で、高齢者のみの世帯の占める割合が増加している。高齢者夫婦世帯及び、高齢者単独世帯とともに増加している。かつ「外出がない」「近所付き合いがほとんどない」等、地域社会への関わりの希薄さが懸念されている。村政の福祉制度や介護サービスが整備されているが、様々な理由で利用されていない実態がある。これからの高齢者の社会的孤立の環境と背景を確認する必要がある。実情について見解を伺います。</p> <p>⑥高齢者の進展という、需要側要因に食料品店の減少という供給側要因が加わり、食料品の買い物に不便や苦勞のある高齢者が顕在化している。本村において、大型商業施設の発展が大きな便益をもたらしている。しかし、地域で集落内の店舗が閉鎖され、そこに居住する高齢者が食料品の買い物に不便をきたしている。高齢者が買い物に不便や苦勞を感じる状況は「食料品のアクセス問題」ととらえて、重要な行政課題として、早急に取り組む必要がある。実態把握について見解を伺います。</p> <p>・今後、自治会の態様に応じた効果的な高齢化対策を積極的に推進していく必要があります。</p>	

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	3. 施政方針について (P-4) ①国際交流の推進。②平和の継承	<p>令和8年度 施政方針に関連して質問します。 (P-4) (4) 国際交流の推進と平和の継承について。</p> <p>①国際交流の推進で本村の南米3か国から研修生受け入れ事業について。独立行政法人国際協力機構 JICA 沖縄(浦添市)は中南米地域から多数の研修生を受け入れています。現地の国づくりや日系社会の発展を支援するため多様な連携事業を実施しています。本村も研修生受け入れで JICA 沖縄と連携することを提案します。</p> <p>②『北中城村民平和の日』制定について。核兵器禁止条約が、2017年7月国連会議で採択された。推進国が50か国に達したため条約の規定により2021年1月法的な効力を発した。『平和憲法を守る“非核宣言の村”人権を尊重する』としている北中城村としても歓迎すべきであります。平和行政の推進をさらに高めなければなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄戦の語り部として40年にわたり戦争の悲惨さを訴えてきた安里要江さんの平和の希求であります。過去の体験と平和の尊さを語り続けてきた要江さんの、その遺志を行政は大切に引き継ぐ必要があります。</li> <li>・ふるさと納税で支援を頂いています、佐喜眞道夫さんが運営する佐喜眞美術館(宜野湾市)を紹介します。「人間と戦争」を題材に描かれた「沖縄戦の図」が常時展示され、戦争の真実を訴えかけています。小学校、中学校の平和学習に活用することを提案します。</li> </ul>	村長 教育長
3月23日(月) ◎ 上間 堅治	1. 喜舎場住宅地区返還状況	今年1月の新聞報道によると、日米両政府が米軍ジャンプ瑞慶覧の喜舎場住宅地区の一部(北中城村、約5ヘクタール)を早ければ2026年度にも返還する方向で調整を進めていることが政府関係者への取材で分かった。返還条件となっている米軍家族住宅の移設完了に一つのめどが立ったというであった。村としてどの程度把握しているか伺う	村長

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	2. 公園整備について	<p>北中城村の自治区には公園や広場といった場所は多く存在するが、その場所に設置されている遊具の数が近隣の市町村に比べ充実していないように見受けられる。</p> <p>前回の村長選挙においても子育て世代から公園整備を望む声が聞こえた。令和8年度予算にライカム地区公園整備基本計画設計業務が計上されているが、村全体として計画が必要と思うが村の考えを伺う。</p>	村長
3月23日(月) ⑦ 平安山 和美	1. 子育て行政について	<p>近年、物価高騰の影響により、子育て世帯の生活負担が大きくなっています。特に乳児を育てるご家庭では、紙おむつやベビーミルクなど、日常的に必要な育児用品の価格上昇が大きな負担となっています。ベビーミルクは、母乳育児が難しい場合や母乳と併用する場合など、多くの家庭で必要不可欠な育児用品であり、毎月1万円から2万円程度の費用がかかるとも言われています。また、双子などの多胎児家庭では、その負担はさらに大きくなります。経済的理由からミルクを薄めて使用してしまうケースなども報告されており、乳児の健やかな成長の観点からも支援の必要性が指摘されています。さらに、災害時においては、通常の粉ミルクはお湯や衛生環境が必要となるため、調乳が難しい状況も想定されます。そのような中で、お湯を使わずそのまま飲ませることができる液体ミルクの活用が全国的に広がっており、自治体による備蓄や支援の取り組みも進んでいます。</p> <p>そこで以下について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、本村における乳児を育てる家庭への育児用品、粉ミルクや紙おむつに関する支援の現状について。</li> <li>2、粉ミルクを薄めてしまうリスクを踏まえ、乳児の健やかな成長を支えるために、本村としてどのような支援策を検討できるでしょうか。</li> <li>3、全国で行われている「おむつ・ミルク定期便」や産後家庭訪問など、見守り支援を含む取り組みを本村で参考にできる可能性はあるでしょうか。</li> </ol>	村長

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>2. 村政施行 80 周年の取り組みについて</p>	<p>4、災害時に備え、粉ミルクや液体ミルク、紙おむつなど乳児用品の備蓄状況と今後の計画について。</p> <p>本村は本年、村政施行 80 周年という大きな節目を迎えます。これまで北中城村の発展を支えてこられた先人のご努力と、村民の皆様のご尽力に深く敬意と感謝を申し上げます。施政方針では、中城村との分村 80 年という歴史的節目でもあることから、両村のさらなる発展を目指し「ちよーでー村」の協定締結に向けて協議を進めるとの方針が示されました。さらに、「北中城村村民平和の日」の制定や「北中城村の農がつむぐ 80 年とこれから～希望のタネをまくシンポジウム～」を開催し、地域とともに歩んできた農業の価値を見つめ直し、今後の農業のあり方を村民とともに展望する場とすることも示されています。</p> <p>そこで以下について伺います。</p> <p>1、村政施行 80 周年記念事業の全体的な目的と基本方針について 80 周年という節目を、本村の将来にどのようにつなげていくのか伺います。</p> <p>2、中城村との「ちよーでー村」協定について 協定締結に向けた具体的な内容や、今後どのような連携・交流を想定しているのか伺います。</p> <p>3、「北中城村村民平和の日」の制定について 制定の趣旨と、学校教育や地域活動とどのように連携し、平和教育の推進につなげていくのかを伺います。</p> <p>4、80 周年記念シンポジウム「北中城村の農がつむぐ 80 年とこれから」について 本シンポジウムを通して、本村農業のどのような未来像を描き、今後の施策にどのように反映させていくのか伺います。</p>	<p>村 長 教育長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3月23日(月) ⑧ 伊集 守吉</p>	<p>1. 村道1号線(仲順、屋宜原線)の整備について</p>	<p>私が自治会長の頃、平成23年度の地域懇談会において屋宜原自治会から村道1号線(仲順、屋宜原線)の整備について要望いたしました。村道1号線というように村道の中でも最も重要な道路だと思っています。しかし村当局は村道1号線の整備について、国道330号線と村道1号線とは高低差があって技術的に難しいということや財源の問題などでなかなか前に進みませんでした。この村道1号線は多くの問題がある道路です。喜舎場高台には観光ホテルがありますが、国道から村道1号線へは観光バスなど大型車両は左折できません。また、左折してもすぐ急カーブになり、雨の日に中型トラックがスリップして1回転するのを見えています。幸いにも他の車は通ってなく大きな事故は起きませんでした。担当課にカラー舗装をしてもらいたいと相談したところすぐに対応してくれ、それからは1度も事故はありません。この村道1号線は1本道で迂回路がなく災害が起きないかいつも心配していました。平成26年に大雨で斜面が滑り落ち道路を埋めつくす大きな災害がおきて一定期間通行止めになり、児童生徒の通学や役場・喜舎場方面へは石平回りで住民は大変不便を感じていました。営業していた観光ホテルもバスが通れず大変困ったと思います。また、この村道1号線は至るところに亀裂や沈下が見られます。補修をしても長くはもちません。あやかりの杜から喜舎場までの間も木の枝が道路の真上まで伸びていて、いつでも災害が起こる可能性があると思っています。私はこの村道1号線の多くの問題を定例会での一般質問で何度も行ってきました。この道路が北中城村においてとても重要な道路だと思っているからです。</p> <p>今回村道1号線の質問は、現在整備に向け村当局も一生懸命頑張っている中なのでやめようかと思いましたが、以前に一般質問を行い、気になっている点とこれからの整備に向けて次の5点を伺いたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>① あやかりの杜から屋宜原向けの大きなカーブになっている下の方は以前補修してもらったがまた亀裂や沈下が起きはじめている感じがします。確認はしていま</p>	<p>村長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>すか</p> <p>② あやかりの杜から喜舎場向け左斜面から水が流れ落ちる原因は</p> <p>③ 令和5年度3月定例会で村道1号線の交通量を質問したが再調査したことがあるか伺う</p> <p>④ 村道1号線をどのような形で整備していくか村の考えを伺う</p> <p>⑤ 整備に向けての進捗状況を伺う</p>	
<p>3月24日(㉒)</p> <p>◎ 比嘉 正志</p>	<p>1. 沖縄そばミュージアムで地域振興を</p> <p>2. 子ども達の模擬選挙で主権者教育を</p>	<p>観光立県沖縄で代表とする食事に沖縄そばがあります。観光客の中には沖縄そばを食べるために沖縄を訪れるという方もいるほどです。沖縄の食文化の中で切っても切り離せない沖縄そばですが、スープのだし、麺の種類、具材等々、その組み合わせは無限大であり、また、沖縄そばの歴史について我々県民も詳しく知らない部分も多くあります。そこで本村に「(仮称)北中城村 沖縄そばミュージアム」を立ち上げ、沖縄そばの歴史に触れるコーナー、県内沖縄そば店から5～6店舗ほど出張展開して頂き沖縄そばを提供するコーナー、沖縄そば作り体験コーナーや土産品などを扱う観光施設を開業出来ないでしょうか。</p> <p>そこで以下の質問をいたします。</p> <p>① 新横浜ラーメン博物館をご存じですか。行ったことはありますか</p> <p>② 沖縄そばの日があることはご存じですか</p> <p>③ 沖縄そばの日に県内各店舗で様々なサービスを行っていますが、沖縄そばの日以外にも沖縄そばに関連するイベントがあることをご存じですか</p> <p>近年、様々な選挙のたびに投票率の低下が話題に上がりますが、選挙が終わるたびに投票率の向上について検討される話題も併せて多くなっている状況です。各自治体</p>	<p>村 長</p> <p>村 長 教育長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>3. マイクロバスの有効活用を</p>	<p>でもいろいろな取り組みを行っていると聞いております。投票率の向上の対応策のひとつに子ども達の主権者教育の話題がしばしば聞かれます。はたして選挙に行かせることが主権者教育でしょうか。主権者教育とは「児童生徒が社会の出来事を自分事とし、自ら考え、判断し、主体的に行動を起こす主権者を育てること」だと思います。例えば選挙の場合だと候補者は何を訴えているのか。訴えに根拠はあるのか。当選後の活動に一貫性はあるのか、など最後まで見届けることも大事なことです。そこで、選挙の投票率向上にも繋がりうる主権者教育の新たな取り組みとして村長選挙及び議会議員選挙を小・中学校で模擬投票が行えないかと考えております。おそらく国内初の実践になるかと思いますが実現に向けて以下の質問をいたします。</p> <p>① 小学校・中学校で模擬選挙を行なった事はあるか。あればどのような内容か</p> <p>② 児童生徒が主体的に考えを示し児童会や生徒会で協議し、学校側へ訴え実現した案件はあるか</p> <p>本村所有のマイクロバスが新しくなりましたが、利用頻度や利用者の制限などについて以下の質問を致します。</p> <p>① マイクロバスの利用状況はどのようになっているのか</p> <p>② マイクロバスの利用者に制限はあるのか</p> <p>③ 運転手は役場から紹介（斡旋）して頂けるのか。運転手リストなるものはあるのか</p> <p>④ 任意保険についてはどのように契約しているのか</p>	<p>村 長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3月24日(火) ⑩ 川上 龍太</p>	<p>1. 北中城村歴史まちづくり計画に関して</p> <p>2. 本村の不登校に関して</p>	<p>今年2月に荻道・大城区民を対象に「歴史まちづくり計画 合同住民説明会」が開催されました。歴史情緒あふれるまちなみや文化財、伝統的な地域住民の営みを貴重な風景として一体的に整備・活用していくため、「北中城村歴史まちづくり計画(歴史的風致維持向上計画)」を作成中と説明があり、担当課長や職員、そして荻道・大城区民の皆さんと意見交換を行いました。歴史的風致維持向上計画では、歴史的な環境(歴史的風致)を地域固有の資産と捉えて、歴史的風致の維持及び向上により個性豊かな地域社会の実現をするための事業が計画されています。そして、各都市の歴史的風致維持向上計画に基づくハード・ソフト事業に対し、関係省庁(農林水産省、文部科学省、国土交通省)が連携し、各種事業制度や法令上の特例措置などによる支援を行っています。そこで、以下の点を村当局に伺います。</p> <p>① 北中城村歴史まちづくり計画策定までのスケジュールは</p> <p>② 歴史的風致維持向上計画認定までのスケジュールは</p> <p>③ 認定取得後の荻道・大城そして本村全体への影響や活用方法は</p> <p>不登校とは、心理的・身体的・社会的な要因により、年間30日以上学校に登校できない場合は不登校と定義し、15日以上30日未満の場合は準不登校と言われており、日本の教育現場で深刻な問題となっています。</p> <p>令和6年度の統計では、小・中学校の不登校児童生徒数は約35万4千人に達し、小学校では約44人に1人、中学校では約15人に1人が不登校の状態にあり、中学校のクラスでは2～3人程度の不登校生徒が存在する計算です。</p> <p>近年、教育委員会や学校が不登校対策に力を入れるようになり、特別支援やカウンセリング、フリースクールなどの選択肢が増えてはいるが、社会全体でこの問題に取り組む必要があり、本村としても学校だけにとどまらず、村全体で連携して取り組む</p>	<p>村 長 教育長</p> <p>村 長 教育長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>3. リチウムイオン電池の取り扱いは</p>	<p>必要があると考えます。そこで、以下の点を村当局に伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 本村の小中学校の不登校の人数は</li> <li>② 不登校への学校内での支援、対応は</li> <li>③ 不登校への本村としての対応策は</li> </ul> <p>近年、パソコンやスマートフォン、モバイルバッテリーや加熱式たばこなど、小型で軽く、手軽に充電できる等、利便性の高さから幅広く用いられているリチウムイオン電池だが、ごみに出されたリチウムイオン電池の火災が全国で相次いでいます。那覇空港では1月1日に火災があり、航空会社の事務所に保管されていた電動自転車リチウムイオン電池が激しく燃えていたと発表。ごみ収集中の危険な状況も各地で確認され、近隣では宜野湾市、中城村、そして本村もごみ収集車やごみの集積所、処理施設などで発火や発煙が確認されていると2月の報道で発表されています。</p> <p>需要が広がる一方、使用後に課題があり、本来は、回収店へ持ち込むように呼びかけている市町村で、可燃ごみや不燃ごみなどの中に、リチウムイオン電池を使う製品が混在してしまうなど、適切な分別をせずに、火災につながる事例が出ています。そこで、一般的にごみ処理の区分は各自治体に任されているため、以下の点を村当局に伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 本村の発火・発煙などの件数と詳細は</li> <li>② 本村の取り扱い、処分方法は</li> <li>③ 村民への周知徹底は</li> <li>④ 今後の対策は</li> </ul>	<p>村 長</p>

# 令和8年 第2回3月定例会

一般質問日(令和8年3月19、23、24日)

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3月24日(火) ⑪ 山田 晴憲</p>	<p>1. タカノリ村長の「村財政」について</p> <p>2. 米軍機の騒音被害について</p>	<p>①将来にわたる村財政負担の状況について直近の昭和委を伺いたい。</p> <p>②次の事業について総事業費詳細と今後の見通しについて伺いたい。  <span style="color: red;">事業名「(仮称)アリーナ関係事業」、「しおさい市場関係事業」、「女性長寿日本一関係事業」</span></p> <p>③今後の財政の見直しについて考慮した考えを伺いたい。又、村民の皆さんへ時間をかけた丁寧な説明が必要と思うがどの様に考えているか。</p> <p>④村長の選挙公約実現について可能か実現に影響がないか伺いたい。</p> <p>⑤今後の事業展開の改善策についてどの様に考えているか伺いたい。</p> <p>今後、村新規事業計画について村民の皆さんを広く参画の取組の考えがないか。「(仮称)村新規事業計画検討委員会」設置、「(仮称)村事業執行条件整備規定」制定。</p> <p>① 昨今の米軍機の騒音被害についてどの程度承知しているか。又、どの様な事務の流れで対処しているか伺いたい。</p> <p>② 騒音被害とする旨の明確な基準を再度確認方伺いたい。</p> <p>③ 現在どの様な対策対応を執行しているか伺いたい。</p> <p>④ 村の今後、特段の取組の考えを伺いたい。</p>	<p>村 長</p> <p>村 長</p>